

たくさんの生き物が住んでいるんだよ~!

十三干潟ウオッチング



淀川管内河川レンジャーアドバイザー
辻川松子さん

淀川管内河川レンジャーは、淀川・宇治川・桂川・木津川をフィールドとして、防災・環境保全・歴史文化・川づくり・河川管理支援などの川に関する様々な活動を行っています。

淀川管内河川レンジャー 検索



テナガエビ



ヤマトシジミ



ヨシ



クロベンテイガニ

干潟って何だろう??

干潮になると水が引いて、満潮のときは水につかっていた場所が広い泥の浜になります。そこが干潟。川の水と海水が混ざり合う汽水域と呼ばれ、シジミやエビ、カニなどたくさんの種類の生き物が暮らしています。淀川区には十三干潟というとても貴重な場所があります。

気をつけようね



川や干潟はとっても楽しい場所だけど、大切な自然の宝庫。豊かな淀川を守るために、必ずマナーを守りましょう。また絶対に子どもたちだけで遊びに行かないようにしましょう。

干潟に学ば! 干潟で遊ば! 参加者募集!

雨天中止(予備日なし)

干潟で暮らす生き物を見て、ふれて、一緒に学んでみませんか?

十三干潟では、カニやシジミなど、たくさんの生き物たちに出会えます。

この貴重な機会にぜひ「自然学習体験」を試みましょう。

日時 7月27日(日)13:30~16:00

場所 十三干潟(淀川河川敷)

対象 区在住の小学生(小学3年生以下は必ず保護者同伴でお願いします)

定員 50名(申込多数抽選)

申込 メールにて、tl0002@city.osaka.lg.jp
あて、『干潟イベント申込・住所・参加者全員の氏名・フリガナ・学年または年齢・電話番号』をご記入のうえ送信してください。
7月14日(月)必着。(抽選結果は7月18日(金)までに通知)

主催 淀川区役所・淀川河川レンジャーアドバイザー
問合せ 市民協働課「干潟に学ば!干潟で遊ば!」係
4階41番 ☎6308-9734



▶Eメールにジャンプ!!

7月は河川愛護月間

川は貴重な自然空間。安全に注意し、美しく利用しましょう。

淀川区役所 × NPOノーベル協働事業

おうち訪問型病児保育を突撃レポート!

働く親の大きな悩みである「子どもの急な病気」。仕事の都合はおかまいなしに、熱を出したり嘔吐したり。病児保育ってどうなの?の疑問・不安にお答えします!

人見知りの我が子、保育スタッフさんに慣れるか心配...



◀一番慣れた自宅で、保育スタッフに甘え放題。1日1回、「保育経過報告メール」が保護者へ届くので、子どもの様子も分かり安心。

利用者の声

子どもが泣かずに見送ってくれ、ホッとしました。目が合うなり、名前を呼んだり、声を積極的に掛けてくれ、子どももリラックスしたと思います。帰り際に「おねえちゃん、行ってらっしゃい」と息子も言っていたので、楽しく過ごせたのがよく分かりました。



詳細はホームページへ

ノーベル 病児保育 検索

<http://nponobel.jp/service/yodogawa/>



編集後記

あつ、干潟特集だ。僕も淀川河川敷と十三干潟が大好きです。区役所から徒歩3分のオアシス。何だか少し辛い時や、何だかとても楽しい時にフラツと出かけます。(休み時間にですよ) やさしい風に阪急電車のガタンゴトンって音色が本当に心地良いんです。そのまま家に帰りたくなります。自然学習体験、良いなあ。「よどマガ!見て来ました!」って参加しちゃうかなあ。あつ、申込みしなきゃ♪ (広報担当)



▲淀川で投網中の担当

【広報誌の配布方法】 区広報誌「よどマガ!」は、毎月1日(休刊日は翌日)の新聞(朝日・毎日・読売・産経・日本経済・大阪日日新聞)朝刊に折込でお届けしています。また、淀川区ホームページ(<http://www.city.osaka.lg.jp/yodogawa/>)でもご覧いただけます。これらの新聞を購読されていない方で、配送をご希望の場合は、お申出ください。ただし、配送には数日間かかる場合があります。点字・音訳版もあります。申込は、淀川区役所政策企画課(☎6308-9404)まで。